

「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」 取組状況評価シート（令和3年度末時点）

取組No. 1

I	健全な財政基盤の確立
1	事務事業の継続的な見直し
(1)	事務事業の見直し

【取組状況】

担当課	行政経営課
取組内容	事務事業の見直し

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	令和元年度・令和2年度の前期行動計画の取組状況評価及び令和4年度からの後期行動計画の審議を優先したため、行政改革推進委員会において事務事業の見直しは審議できなかったが、令和4年度予算策定前に、事業の廃止や縮小ができる事業（会議等の運営手法の見直し、ペーパーレス化等）を調査した結果を予算に反映し、8,976千円の経費削減につながった。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		指標1	指標2	指標3
実績・数値目標	指標名	事務事業の見直し実施件数		
	目標値	追加		
	R3実績値	13事業		
	歳入増加額（千円）	—		
	歳出削減額（千円）	8,976		
	目標値と実績値の差分についての理由			

<総合評価>

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

【担当課の自己評価】	
総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	庁内で廃止・縮小できる事業を調査し、8,976千円の歳出削減につなげることができたため。
今後の取組	令和4年度は事務事業の見直しの一環として、「補助金制度に関する指針」の改定を行う。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

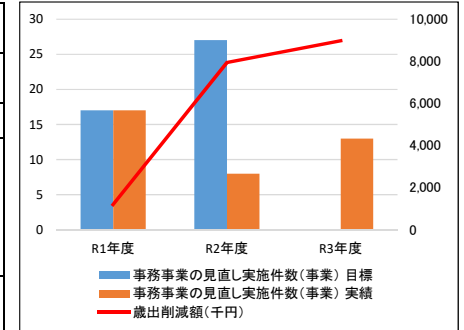
限られた経営資源を有効に活用しながら、継続的に迅速かつ的確な行政運営を行うために、「市の負担軽減」「公平性」「事業の効果」の観点から、行政サービスの整理や、事業内容の精査を行い、財政基盤の安定化を図る。

【R3年度の取組計画】

事務事業の見直しの実施

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
事務事業の見直し実施件数（事業）	目標	17	27	—
	実績	17	8	13
歳出削減額（千円）		1,200	7,939	8,976
評価		C	D	B



【令和3年度 事務事業の見直し実施事業一覧】

No	事務事業名	廃止/縮小	削減額（千円）
1	市民政策提案制度	廃止	0
2	生駒市例規集更新データ作成	縮小	836
3	交通安全用消耗品（電柱幕）の貸出し	縮小	215
4	防犯活動事業用品（電柱幕）の貸出し	縮小	61
5	契約締結に係る事務の見直し	縮小	2,867
6	ふるさと納税広告掲載	廃止	352
7	補正予算の提出	縮小	2

No	事務事業名	廃止/縮小	削減額（千円）
8	生駒市創エネ・省エネシステム普及促進事業補助金	縮小	2,200
9	電動式生ごみ処理器購入補助	廃止	1,800
10	イベントにおける消耗品の見直し	縮小	21
11	ふるーらむ主催講座・講習会	縮小	50
12	茶釜の会wi-wiジュニア事業	廃止	152
13	要保護児童対策地域協議会に関する事業	縮小	420

Ⅲ	ファシリティマネジメントの推進
1	公共施設の有効活用
(1)	公共施設の最適化・長寿命化

【取組状況】

担当課	行政経営課
取組内容	公共施設マネジメント推進計画に基づく公共施設の最適化

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	令和2年9月に策定した「生駒市個別施設計画」について、各部位の劣化状況や建物の構造等をもとに、施設を長寿命化するために必要となる改修や修繕等の時期及び概算費用を追記する改定を行い、計画的に改修等を実施する道筋を定めた。 また、金鷲の杜優苑（延床面積：1218.7㎡）を令和3年度末で廃止した。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	公共施設の延床面積	
	目標値	—	
	R3実績値	321,735㎡	
	歳入増加額（千円）	—	
	歳出削減額（千円）	23,299	
目標値と実績値の差分についての理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	金鷲の杜優苑を令和3年度末で廃止することができたため。
今後の取組	庁内組織である公共施設等マネジメント推進会議で各担当課が抱える課題等を共有し、再配置案を検討するとともに、地域住民や利用者など施設関係者と協議を行うことで、施設の適正配置を推進する。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

市民が安心して利用できる状態で維持していくためには、公共施設の現状をハードとソフトの両面から把握し、最適化の観点から、計画的な更新・統廃合・長寿命化等を図り、将来必要となる修繕・更新費用を最小化・平準化していくことが必要となる。  
公共施設の保有状況(平成27年11月末現在)  
128施設280棟、総延床面積322,953.97㎡

【R3年度の取組計画】

個別施設計画の実行

2. これまでの実績

	R1年度	R2年度	R3年度
評価	D	C	B

<個別施設計画>

上位計画である「生駒市公共施設マネジメント推進計画」で示す各公共施設の方針（維持・廃止・改修・機能移転等）を実現するための具体的な取組手法やスケジュールについて定めたもの。  
令和3年度に、今後も維持していく施設の長寿命化を図るため、各部位の劣化状況や建物の構造等をもとに、施設を長寿命化するために必要となる、改修や修繕等の時期や概算費用を追記する改定を行った。

Ⅲ	ファシリティマネジメントの推進
1	公共施設の有効活用
(1)	公共施設の最適化・長寿命化

【取組状況】

担当課	みどり公園課
取組内容	公園街路樹維持管理業務の見直し

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	公園の高木剪定について、剪定本数の見直しに加え、剪定を実施する公園そのものを見直した。また、緑地の草刈業務についても再考し、必要最低限の範囲での実施に留めた。その結果、人件費が上昇したものの業務全体で委託料を縮減した。 また、みんなの公園ワークショップ事業を6箇所で行い、公園の新たな利活用や遊具の選定を地元住民や公園利用者と共に考えた。
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・数値目標	指標		
	指標1	指標2	指標3
指標名	委託料		
目標値	—		
R3実績値	204,600千円		
歳入増加額(千円)	—		
歳出削減額(千円)	5,500		
目標値と実績値の差分についての理由	剪定する樹木について精査するとともに、剪定対象公園の見直し及び縮小を行ったことにより、約550万円縮減した（令和2年度決算額（2億1010万円）－令和3年度決算額（2億460万円）＝550万円		

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	剪定をする公園の樹木の本数を精査し、緑地の草刈り範囲も令和2年度よりも減らして事業に取り組んだ。
今後の取組	公園や緑地の樹木が大木化しており、倒木や隣接地へ越境する事例が多く見受けられるため、再度剪定の頻度を増やすことを検討し、状況によっては伐採を行う。あわせて、公園街路樹維持管理費の縮減のため、公園樹木の在り方を見直すとともに、街路樹の更新・撤去の方針をまとめる。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

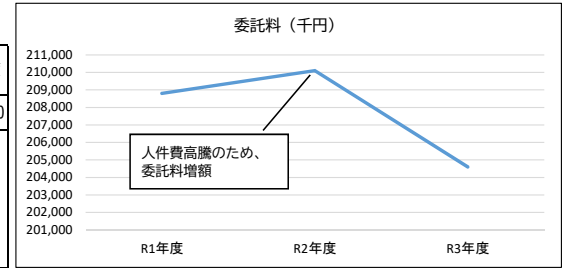
公園・緑地や街路樹については、高木・低木等の剪定、草刈、清掃等を行い管理している。現管理方法では人件費の高騰により費用が年々増加傾向にあり、市の財政状況を鑑み、これまでの管理方法等を見直し、維持管理費用を抑える必要がある。そのため、高木等の剪定回数の見直しや自治会等と協議し、管理方法を検討するとともに、街路樹更新等について検討する。

【R3年度の取組計画】

公園の維持管理対象範囲の見直しについて検討

2. これまでの実績

	R1年度	R2年度	R3年度
委託料（千円）	208,800	210,100	204,600
評価	B	B	B



IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
1	市政情報の提供・情報共有の充実
(1)	市政情報の分かりやすい情報提供・効果的な情報共有

【取組状況】

担当課	広報広聴課
取組内容	市政情報の提供・発信

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年11月にウェブアクセシビリティの全ページ調査を行い、機種依存文字や不適切な日付の表記、リンク切れ等の問題が443件あり、早期に対応可能な367件を修正したことで、音声読み上げの精度が向上した。また、利用者に影響はないがプログラム上の問題点が明らかになったため、修正対応した。</li> <li>コンテンツ作成時に気を付けるべきことを、概ね月1回庁内LANで発信することで、各担当課と知識を共有し、アクセシビリティ向上に努めた。</li> <li>幼稚園や保育所、こども園のページ分類を全園共通で見直し、見やすく分かりやすいページにリニューアルした。</li> </ul>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・数値目標	指標		
	指標1	指標2	指標3
指標名	市民満足度調査における「市の情報収集元」をホームページと回答した比率	ホームページの閲覧総頁数	
目標値	—	6,354,000頁	
R3実績値	—	15,526,982頁	
歳入増加額（千円）	—	—	
歳出削減額（千円）	—	—	
目標値と実績値の差分についての理由	市民満足度調査は隔年実施であり、令和3年度は実施されなかった。	令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）関連情報やワクチン情報等、全市民に関連する緊急情報を発信し、市民の関心も非常に高かったため。	

<総合評価>

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

【担当課の自己評価】

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	令和3年11月から令和4年3月にかけて、よく見られているページ等40ページを対象にJIS規格に基づく試験を行った結果、アクセシビリティAAを達成しているため。
今後の取組	引き続き、市ホームページのアクセシビリティやユーザビリティ向上のため、毎年度アクセシビリティの調査等を行い、担当課と協力し改善していく。 アクセス数の多いページやリンク切れのページなどの情報を庁内で共有し、担当課に改善の意識付けを行う。また、担当課のページ制作支援や情報共有も行う。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

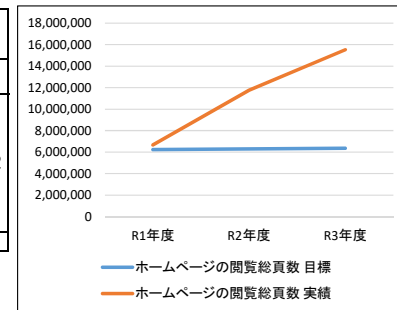
市ホームページは平成27年度にリニューアルを実施し、市職員がWEBページを制作・編集できるコンテンツ・マネジメント・システムを導入した。また、市職員で構成するワークショップで検討したサイト構成に変更した。前回リニューアル時からインターネット利用者や利用環境が大きく変化しており、年齢や障がいの有無、言語、使用機器に関わらず、市が発信する情報を簡単に検索・閲覧できるホームページを整備する必要がある。

【R3年度の取組計画】

市ホームページの運用

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
ホームページの閲覧総頁数	目標	6,229,000	6,291,000	6,354,000
	実績	6,661,546	11,759,052	15,526,982
評価		B	B	B



IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
1	市政情報の提供・情報共有の充実
(2)	情報共有の充実に向けたツールの活用

【取組状況】

担当課	広報広聴課
取組内容	多様なツールで情報発信

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	・R3年度に運用を開始したLINEでのワクチン情報の発信を含め、8つのツール（広報紙、ホームページ、Twitter、Facebook、Instagram、LINE、チラシ・ポスター、カタログポケット）で、それぞれの特徴を生かせるようタイミングや内容を精査し、情報発信環境を整備した。 ・特に、コロナ関連情報は、上記SNS等の他、自治会回覧やポスターの作成・掲示を組み合わせで情報発信した。		
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3
	指標名	市政情報などを発信・共有するツール数	Twitterフォロワー数
	目標値	6ツール	13,867人
	R3実績値	8ツール	25,503
	歳入増加額（千円）	-	-
歳出削減額（千円）	-	-	-
目標値と実績値の差分について理由	令和3年4月から、ワクチン情報の発信のためにLINEを導入したため。	各所属が所管するアカウントで有益な情報をツイートしており、いごまタケ（広報広聴課）や防災いごま（防災安全課）、消防本部などのアカウントでフォロワー数を増やしているため。	

<総合評価>

A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

【担当課の自己評価】	
総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	・LINE登録者数は、18,782人（R4.3月末現在） ・市ホームページの総閲覧数の上昇は、コロナ関連情報やワクチン情報をTwitterやLINE等のSNSで発信し、基幹情報源である市ホームページに誘導できたことも一因であると考えられるため。
今後の取組	・ツールが増えることで、業務も煩雑になる可能性がある。そのため、1つの情報を複数のツールで発信するよう心がけることで、できるだけ多くの市民に情報が届くようにするとともに事務作業を軽減する。 ・現在の情報発信ツールの改善や新たなツールの導入、発信ツールの組み合わせ等、最適な情報発信方法を都度検討する。

補足情報

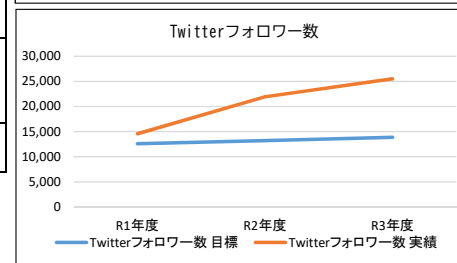
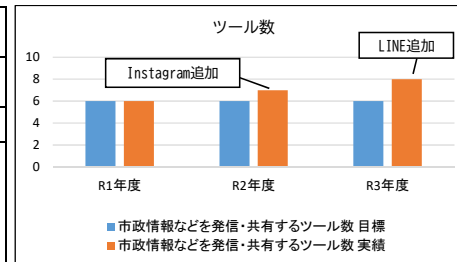
1. 前期行動計画の概要

市政やまちに関する情報などを、市オウンドメディアであるホームページや広報いごまで届ける。また、所有媒体だけでなく、ソーシャルネットワークサービス（SNS）やインターネットを活用したメディアなども利用し、多種多様なツールで情報を提供する。

【R3年度の取組計画】  
 社会状況などを考慮し、使用するツールの精査

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
市政情報などを発信・共有するツール数	目標	6	6	6
	実績	6	7	8
Twitterフォロワー数	目標	12,578	13,207	13,867
	実績	14,579	21,912	25,503
評価		B	B	B



【ツール別の利用者人数等（令和4年3月時点）】

広報紙：発行部数 47,150部（3年度平均）  
 ホームページ：総閲覧ページ数 15,526,982PV  
 Twitter：30アカウント、フォロワー数 25,503人（小・中20アカウント除く）  
 Facebook：1アカウント、フォロワー数 6,278人（人事課、消防本部アカウント除く）  
 Instagram：1アカウント、フォロワー数 1,540人（たけまくんアカウント除く）  
 LINE：1アカウント、登録者数 18,782人  
 カタログポケット：閲覧数 4,326回

【SNSからのHPへの流入数】

	市HPのPV	SNSからの流入PV				
		Twitter	Facebook	LINE	Instagram	合計
R1年度	6,661,546	83,079	33,409	2	23	116,513
R2年度	11,759,052	160,472	58,715	115	58	219,360
R3年度	15,526,982	448,802	35,766	664	1,407	486,639

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(1)	市民自治協議会の設立拡大と活動支援

【取組状況】

担当課	地域コミュニティ推進課
取組内容	市民自治協議会の設立に向けた支援とともに、市民自治協議会や準備会の活動支援

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	・市民自治協議会2団体及び市民自治協議会準備会1団体に対して補助金助成を実施したことに加え、市民自治協議会1団体及び市民自治協議会準備会1団体ワークショップに対して講師謝礼の助成を実施したことで、活動の活性化に寄与した。			
実績・数値目標		指標1	指標2	指標3
	指標名	市民自治協議会設立数	ワークショップの開催箇所数	
	目標値	3団体	3箇所	
	R3実績値	2団体	2箇所	
	歳入増加額(千円)	-	-	
	歳出削減額(千円)	-	-	
	目標値と実績値の差分についての理由	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、市民自治協議会設立・準備に向けたワークショップ等の活動が縮小したため。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ワークショップが開催できなかったため。	

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	D：やや不十分な成果にとどまった
評価の根拠	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響下であったことを考慮しても、目標数値を下回ったため。
今後の取組	・小学校区単位で地域の合意形成を図っていく団体としての市民自治協議会準備・設立に向けた機運醸成を図るため、ワークショップ等の継続開催 ・市民自治協議会の運営及び設立を推進するための補助金助成の継続実施

補足情報

1. 前期行動計画の概要

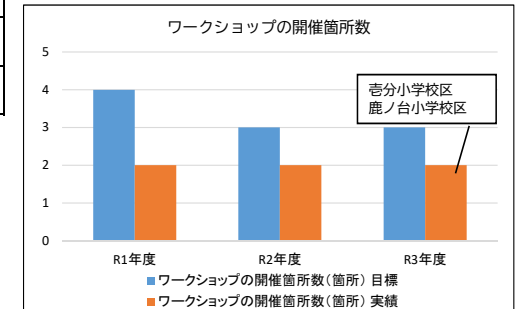
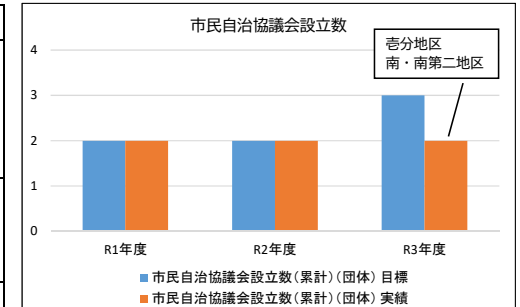
多様化している市民ニーズに対応したまちづくりを効率的・効果的に推進していくため、概ね小学校区程度の範囲で、自治会、民生児童委員、老人クラブ、PTA、NPOなど、多様な主体が相互に協力し、地域のさまざまな課題の解決や住みよいまちづくりを目指す組織として、市民自治協議会の設立を進める。  
また、市民自治協議会及び設立を目指す準備会に対する活動支援を行う。

【R3年度の取組計画】

- ・ワークショップの開催
- ・市民自治協議会の設立・活動支援
- ・地域まちづくり活動支援補助金の交付

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
市民自治協議会 設立数(累計) (団体)	目標	2	2	3
	実績	2	2	2
ワークショップの 開催箇所数 (箇所)	目標	4	3	3
	実績	2	2	2
評価		D	D	D



<市民自治協議会>

個性的で心豊かな地域をつくるため、一定のまとまりのある地域において、自治会、NPO等の多様な主体で構成される市民自治活動を行う組織  
市民自治協議会：吉分地区、南・南第二地区  
準備会：中地区、鹿ノ台地区、北生駒地区

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(2)	市民、事業者、NPO等との協働によるまちづくり

【取組状況】

担当課	市民活動推進センター ららポート
取組内容	コーディネート機能の充実による活躍の場の提供

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	新型コロナウイルス感染症拡大の余波が依然として続く中、市民活動の停滞を防ぐためにボランティアマッチングの機会となるイベントを企画するなどした。そのほか、市内で活動する市民活動団体への運営基盤強化の講座を開催するなどして団体の運営安定化を支援した。その結果、前年度の件数40件と比較して60%(29件)多い70件に増加した。
-----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		指標1	指標2	指標3
実績・数値目標	指標名	コーディネート件数		
	目標値	165件（単年度延件数）		
	R3実績値	70件		
	歳入増加額（千円）	—		
	歳出削減額（千円）	—		
	目標値と実績値の差分についての理由	おたすけ帳の配布や地縁団体等との中間支援によってマッチングケースは前年度よりも増加した。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市民活動の消極化が依然として続いているため。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	D：やや不十分な成果にとどまった
評価の根拠	コロナ禍においては市民活動自体を慎重にならざるを得ない背景がある。新しい生活様式が増える中でNPOの活動が戻りつつあるが、福祉施設からのボランティア依頼相談が少なくなっていることや、新たなまちづくりの担い手が増えていないため。
今後の取組	経済活動に後れをとりつつも、市民活動も少しずつ回復の兆しを見せている。今後はこれまでに地域に関心の少なかった20～50代の市民に対して、オンラインなど様々なツールの活用も含めて市民活動を行うきっかけを提供する場づくりを行いながら、新たな市民活動実践者の発掘と活動の支援を行っていく。また、市内で活動中のまちづくりの担い手をつないで新たな活動を生み出していく。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

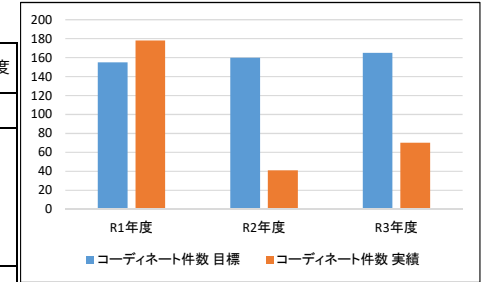
様々な分野の市民公益活動団体等が地域と連携し、活躍の場が広がるよう積極的なコーディネートを行うもの。依頼があつてからマッチングコーディネートするのではなく、市民公益活動団体や個人ボランティアの得意をプログラム化してまとめ、自治会などの地縁団体に情報発信を行う。

【R3年度の取組計画】

- ・登録団体が提供できるプログラムを追加・更新
- ・情報発信先を増やしていく

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
コーディネート件数	目標	155	160	165
	実績	178	41	70
評価		B	D	D



IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(2)	市民、事業者、NPO等との協働によるまちづくり

【取組状況】

担当課	スポーツ振興課
取組内容	総合型地域スポーツクラブの推進・支援

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	市民のスポーツ活動を推進するため、現在3クラブある総合型地域スポーツクラブについて学校などを通じて、クラブの存在や活動内容を広く知ってもらい周知啓発を行うとともに、クラブ間の連携や相互協力を図ることを目的とする総合型地域スポーツクラブ連携会議を開催した。 また、各クラブが事業開催時等に必要となる用品の整備（整備用品例：ミニサッカーゴール等）や、新規クラブの設立に向けた、情報提供等を行った。
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		指標1	指標2	指標3
実績・数値目標	指標名	市内総合型地域スポーツクラブ設立数	市内総合型地域スポーツクラブ会員数	
	目標値	3クラブ（設立準備クラブ1）	850人	
	R3実績値	3クラブ（設立準備クラブ1）	894人	
	歳入増加額（千円）	—	—	
	歳出削減額（千円）	—	—	
	目標値と実績値の差分についての理由			

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	B：予定どおりの成果が得られた
評価の根拠	コロナ禍で総合型地域スポーツクラブの活動が縮小する中、会員数の増加に繋げる取組を行い、指標2は目標値を上回っている。また、学校を通じた周知啓発により、小・中学生の会員数は前年度比で27%増となっているため。
今後の取組	新型コロナウイルス感染症対策の今後の方向性を見極めた上で、市民のだれもが個々のライフスタイルやライフステージに応じて、身近にスポーツを楽しむため、引き続き「総合型地域スポーツクラブの推進・支援」を行い、クラブ会員数の向上を図る。

補足情報

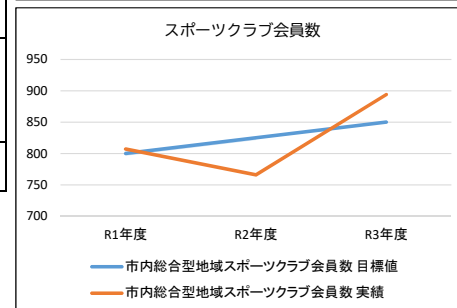
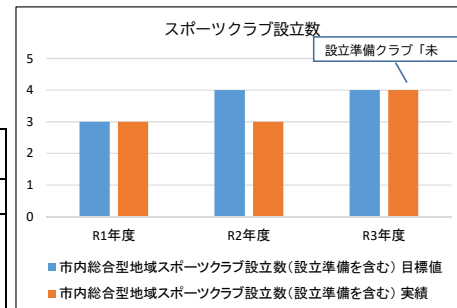
1. 前期行動計画の概要

市民のスポーツ活動を推進するため、総合型地域スポーツクラブの活動内容等の周知啓発を行うとともに、クラブ運営に関する助言や施設利用、広報等における支援を行い、会員数の増加及び安定したクラブ運営となるよう活動をサポートする。また、新規クラブの設立に向けた助言や協力を行う。

【R3年度の取組計画】  
・新規クラブ設立に向けた助言や協力  
・各クラブに対する活動支援

2. これまでの実績

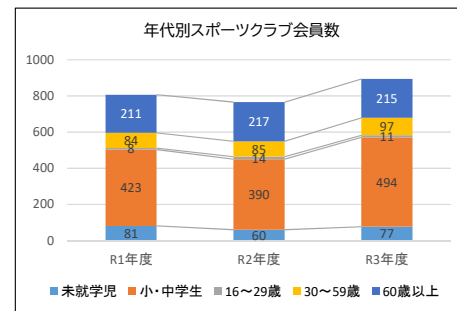
		R1年度	R2年度	R3年度
市内総合型地域スポーツクラブ設立数（設立準備を含む）	目標値	3	4	4
	実績	3	3	4
市内総合型地域スポーツクラブ会員数	目標値	800	825	850
	実績	807	766	894



【スポーツクラブ会員数内訳】（人）

	R1年度		R2年度		R3年度	
未就学児	81	60	74	77	128	
小・中学生	423	390	92%	494	127%	
16～29歳	8	14	175%	11	79%	
30～59歳	84	85	101%	97	114%	
60歳以上	211	217	103%	215	99%	

※R2年度、3年度の会員数の隣のパーセンテージは、年代別会員数の前年度比





IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(2)	市民、事業者、NPO等との協働によるまちづくり

【取組状況】

担当課	SDGs推進課
取組内容	民間事業者等との協働の活性化に向けた対話窓口の設置

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	・ 公民連携の窓口として、令和元年度に開設した「生駒市協創対話窓口」及び「生駒市協創対話窓口運用ガイドライン」を引き続き運用した。 ・ 当該窓口において民間事業者等からの提案9件を受け、市から課題テーマを3件提示した。提案9件の内1件はお互いの強みを活かした事業を実施し、3件は事業化に向けて対話中である。 ・ 民間事業者等との協働関係が築きやすい市民目線の課題設定や、課題解決に向けた対話スキルを習得することを目的として「協創ワークショップ」を実施。市からは3課5名、民間事業者等からは9名が参加した。			
実績・数値目標	指標名	指標1	指標2	指標3
	対話窓口を通じた民間事業者等からの相談・提案件数			
	目標値	6件		
	R3実績値	9件		
	歳入増加額（千円）	—		
歳出削減額（千円）	—			
目標値と実績値の差分について理由	公民連携の制度が認知されつつあり、民間事業者等からの提案が増加した。			

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	C：一定の成果が得られた
評価の根拠	・ より効果的な協創推進のためには、行政側から積極的に課題を提示し、お互いに新しい価値のある協創をしていく必要がある。 ・ 相談や提案件数は増加したが、担当課とのミスマッチも多く、連携に繋がらなかった。
今後の取組	・ 庁内向けの公民連携研修や企業等とのワークショップ等を継続的に実施し、庁内での協創マインドを醸成することで、市から積極的に課題を提示する組織風土をつくる。 ・ 他市の先進的な事例や、本市でも活用できる公民連携事業等をふまえ、本市の特色やスケールに合わせて推進していく。

補足情報

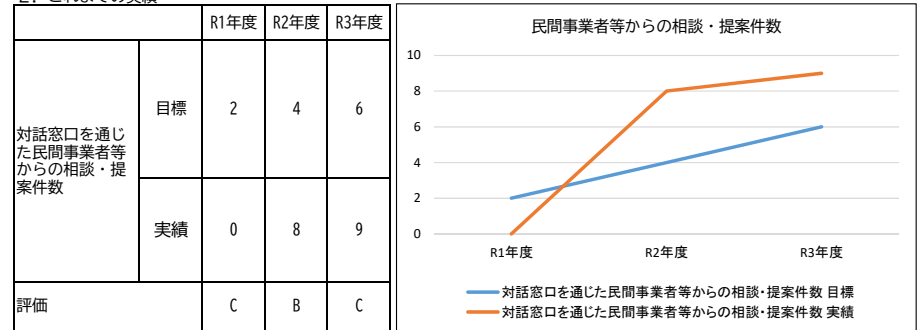
1. 前期行動計画の概要

少子高齢化による財政環境の悪化、ますます多様化する行政課題など、都市経営環境は年々厳しいものとなっている。行政の保有するノウハウや資源に限られる中で、市民ニーズに応じた公共サービスを提供し続けるには、民間事業者等との協創を通じた課題解決が不可欠である。これら協創を活性化するため、協創意向のある民間事業者・団体に向けての窓口を設置し、対話を通じたWin-Winの関係で連携することで、より質の高い公共サービスの創出や地域活力の創造を図る。並行して、公民連携に関するノウハウの蓄積・職員の意識醸成などを推進し、協創に必要なマインドや各種制度などのスキルを身に着けた職員を育成する。

【R3年度の取組計画】

・ 継続的な協創の促進

2. これまでの実績



<市からの課題テーマ>

- ・ イノシン被害対策
- ・ 子どもが日常で本に接する機会を提供するプロジェクト
- ・ 地域社会におけるデジタル活用の推進

<事業化した提案>

- ・ 保育園・幼稚園における保育者研修

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(3)	市民のまちづくりへの参画

【取組状況】

担当課	地域コミュニティ推進課
取組内容	市民がまちづくりに参画できる機会提供の拡充と公益活動団体と地域との連携

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	・各部署で参画と協働の観点を踏まえた事業づくりが行われるよう、職員研修を行った。（2回） ・イコマニアの継続実施など、市民がまちづくりに参画できる機会を提供した。			
実績・数値目標	指標1		指標2	指標3
	指標名	参画・協働の事業数	職員研修の開催回数	
	目標値	300事業	3回	
	R3実績値	255事業	2回	
	歳入増加額（千円）	-	-	
	歳出削減額（千円）	-	-	
目標値と実績値の差分について理由	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、開催中止が相次いだため。	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、ワークショップが開催できなかったため。		

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	D：やや不十分な成果にとどまった
評価の根拠	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響下であったことを考慮しても、目標数値を下回ったため。
今後の取組	・参画と協働に関する職員の意識を向上するため、職員向け研修を継続実施する。 ・参画と協働による事業を推進するため、市民が実施する公共・公益イベントに対して広報支援や保険適用による負担軽減を実施する。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

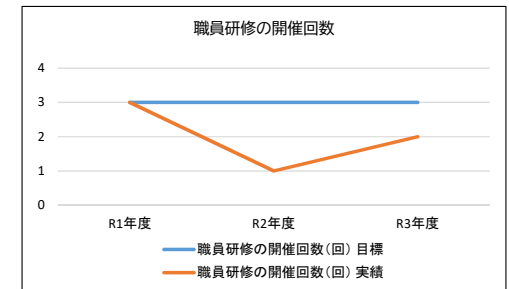
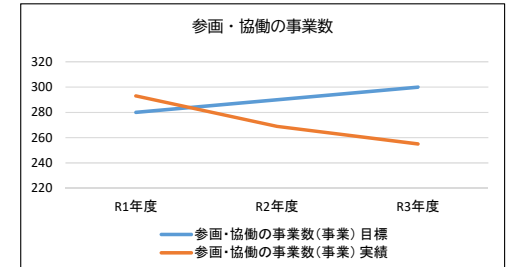
参画の手法は、附属機関等への委員選任やパブリックコメント、ワークショップの実施など多様で、全庁的に浸透してきているが、さらに、職員への参画と協働の意識付けを行うとともに、公益活動を行う市民の裾野を広げられるよう、積極的に市民公益活動団体や個人ボランティアの得意分野を情報発信し、市民がまちづくりに関わる機会を増やしていく。

【R3年度の取組計画】

- ・参画と協働の事例の情報発信
- ・職員研修

2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
参画・協働の事業数（事業）	目標	280	290	300
	実績	293	269	255
職員研修の開催回数（回）	目標	3	3	3
	実績	3	1	2
評価		C	C	D



IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(3)	市民のまちづくりへの参画

【取組状況】

担当課	図書館
取組内容	本を通じたコミュニティづくり、市民との協働事業の実施

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 託児事業をコロナ禍においても試行的に開始するとともに南、北分館でもボランティアの養成を行った。</li> <li>・ 知的障がい者等への読書支援を行う代読サービスのボランティア養成講座を実施した。（3回）</li> <li>・ 各種ボランティア養成講座を実施し、図書館運営を協働して実施していただける市民ボランティアを育成し、読書推進活動に図書館と協働して活動していただいた。</li> <li>音訳ボランティア養成講座 10回、託児ボランティア養成講座 4回、学校図書館本の修理ボランティア養成事業（いこま寿大学実務者講習会2回＋図書館での実習11月から週3回）</li> <li>・ 新規団体である「鹿ノ台図書室サポーター」、学校図書館修理ボランティア「ほん直し隊」の活動が開始。</li> </ul>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

指標名	指標1	指標2	指標3
	図書館事業協働ボランティア団体数	図書館事業協働ボランティア新規加入人数	
目標値	11団体	10人	
R3実績値	13団体	56人	
歳入増加額（千円）	—		
歳出削減額（千円）	—		
目標値と実績値の差分についての理由	関心を持つ市民への声掛けや関係機関との連携により、目標を上回る成果をあげることができた。 養成講座の実施や、PR活動により、図書館で協働される市民が増えた。 ・音訳 4人 ・本活部 1人 ・学校図書館修理ボランティア 8人 ・託児ボランティア 9人 ・鹿ノ台図書室サポーター 19人 ・ピプリオ倶楽部 1人 ・図南の翼 1人・本棚のwa 3人 ・宅配 6人 ・朝活 4人		

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	鹿ノ台図書室において、図書室運営に関わるボランティア団体が地域住民によって設立され、様々な工夫をしながら活動を開始された。寿大学の大学生を対象とした「学校図書館の本の修理ボランティア養成講座」の終了生が、小学校で3校、中学校で2校、学校図書館に出かけ児童、生徒と交流しながら活動を開始された。そのほか、多くのボランティアが参加され、まちづくりの拠点として多くの市民と協働しながら図書館運営を行った。
今後の取組	新型コロナウイルスの影響により、活動の自粛を余儀なくされていた多くの団体の活動を支援し活性化を図りながら、継続してボランティア養成や市民連携事業を展開していく。 また、令和3年度に実施した代読ボランティア養成講座の修了生や市内福祉施設などと連携しながら、令和4年度から知的障がい者に対するサービスを実施し誰もが利用でき、気軽に楽しめる図書館を目指す。

補足情報

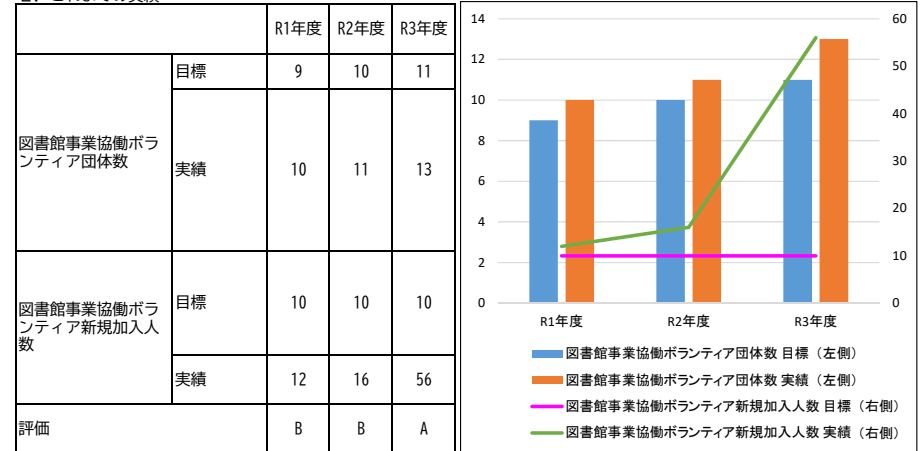
1. 前期行動計画の概要

図書館は資料や情報を提供するだけでなく、市民と協働して様々な事業を開催したり、「まちかど図書室」のような本のある地域の居場所をサポートするなど、まちづくりの拠点となる活動を行っている。

【R3年度の取組計画】

- ・ ボランティア養成講座開催（音訳8回、お話しり手8回）
- ・ 託児ボランティア養成講座6回
- ・ ボランティア募集（PR等）

2. これまでの実績



「生駒市行政改革大綱 前期行動計画」 取組状況評価シート（令和3年度末時点）

取組No. 20

IV	市民、事業者等との協働によるまちづくりの推進
2	協働の取組の推進
(3)	市民のまちづくりへの参画

【取組状況】

担当課	広報広聴課・商工観光課
取組内容	都市ブランド形成

【R3年度の取組】

R3年度の取組実績	<p>・ポータルサイト「good cycle ikoma」で、市内の多様な暮らし方・住まい方を紹介するなど、83件の記事を更新した。また、閲覧数を増やすためにSEO対策やサイト内の回遊性が高まるよう改善した。その結果、サイトの月間閲覧数は平均13,700PVと前年度から約4割増加した。</p> <p>・市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運営により、地域の魅力を体験・推奨する機会を作った。</p> <p>・職員向けの相談会・勉強会の実施や、8課が連携した「スタイリング・ウィーク」など、庁内各課の連携を広報面から支援し、広報手法や事業内容の改善につなげた。</p>			
実績・数値目標	指標1	指標2	指標3	
	指標名	推奨意欲を持つ人の割合	IKOMA SUN FESTAに来場し生駒に対する印象が良くなった人の割合	good cycle ikoma の閲覧総頁数
	目標値	—	75.0%	80,000頁
	R3実績値	—	—	164,577頁
	歳入増加額(千円)	—	—	—
	歳出削減額(千円)	—	—	—
目標値と実績値の差分についての理由	<p>コロナ禍によりイベント中止となったため。</p> <p>市が目指す将来都市像の実現に寄与する事業や、いこまち宣伝部による地域情報を中心に定期的に記事を更新したことや、市公式SNSの運用、SEO対策、各種広告を効果的に利用したため、目標値を大きく上回る結果となった。</p>			

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
 広報広聴課 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	令和2年度と同様にサイト「good cycle ikoma」を中心に生駒の暮らしに関する情報発信を市民協働で行った結果、指標3の目標値を大きく上回ったため。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツの改修やSNSとの連携、広告出稿などにより、引き続きポータルサイト「good cycle ikoma」を効果的に運用する。</li> <li>・「いこまち宣伝部」、スタイリングウィーク、まちの交流会「つどい」等の開催により、住んでいる地域や子どもの有無などの属性によらない交流の場をつくり、地域への愛着を深め、主体的に地域を推奨・参画する人の意欲を増やす。</li> <li>・情報発信力の向上や市民参画の促進、職員同士のコミュニケーションの活性化を図るため、事業相談会や研修会を実施する。</li> </ul>

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
 商工観光課 D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	E：成果は不十分であった
評価の根拠	IKOMA SUN FESTAについては、コロナ禍によりイベント中止となったため。
今後の取組	R2の評価に記載の通り、コンセプトやターゲットを変更して取り組む予定。

補足情報

1. 前期行動計画の概要

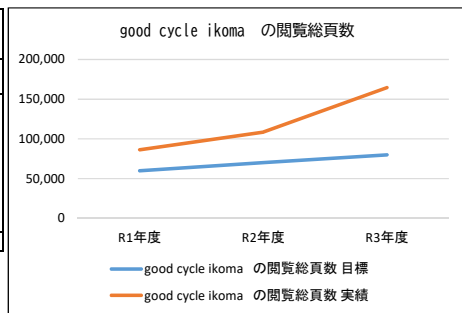
第6次総合計画に記載された戦略的施策のうち、①多様な働き方の推進、②多様な住まい方・暮らし方の推進、③多様なつながりによる交流や活動の推進 につながる事業支援やステークホルダーとの連携により、生駒らしい魅力を創造・編集し、それを市内外に発信・体感する場をつくることで都市イメージを発展させる。

【R3年度の取組計画】

- ・IKOMA SUN FESTAの実施
- ・good cycle ikomaの運用
- ・地域魅力の創造・発信者育成事業

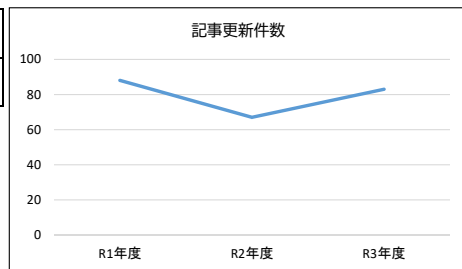
2. これまでの実績

		R1年度	R2年度	R3年度
good cycle ikoma の閲覧総頁数	目標	60,000	70,000	80,000
	実績	86,324	108,685	164,577
評価		B	C	B



【good cycle ikomaの記事更新件数】

	R1年度	R2年度	R3年度
記事更新件数	88	67	83



	財政規律を確保するための 財政指標の目標値設定
1	財政規律を確保するための財政指標の目標値設定
(1)	財政計画に基づく経常収支比率等の指標管理

【取組状況】

担当課	財政課
取組内容	財政指標の目標値の設定・管理

【R3年度の取組】

R3年度の 取組実績	中期財政計画を作成・公表することにより、経常収支比率や市債残高等の見通しを明らかにした。財政状況を適切に把握し、長期的な視点で財政運営を行うことで、健全な財政運営の維持に繋げた。 実質収支 3,180,019千円
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実績・ 数値 目標	指標1		指標2		指標3	
	指標名	経常収支比率	実質収支比率			
	目標値	98.1%	3.0~5.0%			
	R3実績値	84.4%	12.7%			
	歳入増加額 (千円)	—	—			
	歳出削減額 (千円)	—	—			
目標値と実績値 の差分について の理由	比率が低いほど、臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があることを示している。 地方交付税や県税交付金等の一般財源の増額により目標値を達成できた。		国庫支出金や市債等の特定財源の確保に努めたことや歳出が減少したこと、前年度繰越金等が増額となったことや、市税や県税交付金等が想定より増額となったことにより、予想を上回る黒字となった。			

<総合評価>

【担当課の自己評価】 A：高い成果が得られた B：予定どおりの成果が得られた C：一定の成果が得られた  
D：やや不十分な成果にとどまった E：成果は不十分であった

総合評価	A：高い成果が得られた
評価の根拠	一般財源を効率的・効果的に活用し、適切な執行に努めた結果、経常収支比率84.4%、実質収支比率12.7%となり、健全な財政運営を維持することができたため
今後の取組	引き続き、中長期的な視点で財政計画を作成するとともに、歳入確保に努め、事業見直しを進めて経常経費の抑制に努める。

補足情報

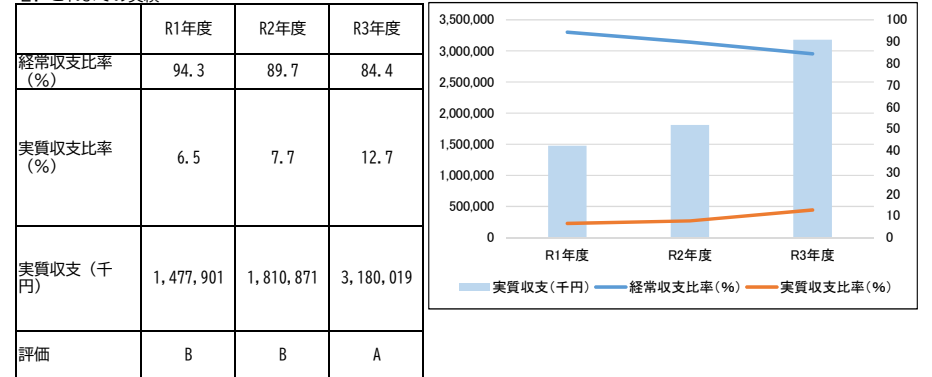
1. 前期行動計画の概要

国の施策等による変動が大きいことから毎年ローリング方式で見直して作成している中期財政計画を、引き続き作成・公表することにより、経常収支比率や市債残高等の見通しを明らかにし、市の財政指標の目標を市民・職員に対して提示・共有することにより、限りある一般財源を効率的・効果的に活用しつつ健全な財政運営を維持する。

【R3年度の取組計画】

行革の取組を進めることで、数値目標の動向を把握・検討し、それを踏まえた財政計画の策定・公表

2. これまでの実績



※用語の説明

経常収支比率	経常経費充当一般財源 ÷ (経常一般財源 + 減収補填債特例分 + 臨時財政対策債) × 100 比率が低いほど、臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があることを示している。
実質収支	当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額をみるもの。 形式収支 (歳入決算総額 - 歳出決算総額) - (翌年度に繰り越すべき継続費 + 繰越明許費 + 繰越等の財源)
実質収支比率	実質収支額 ÷ 標準財政規模 × 100 標準財政規模に対する実質収支額の割合を示している。 ※標準財政規模…地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模で、生駒市は250億円程度